

■一般目標 (GIO)

臨床検査の基本的項目、意義および測定法について学ぶ。また、歯科治療時の合併症とともに全身管理の重要性を理解し、精神鎮静法、救急蘇生法の意義、目的、方法などを学ぶ。

■到達目標 (SBOs)

- ① 臨床検査の必要性を説明できる。
- ② バイタルサインを評価し、説明できる。
- ③ 臨床現場における歯科麻酔の必要性を説明できる。
- ④ 患者（小児、妊産婦、高齢者を含む）の全身状態の評価を説明できる。
- ⑤ 局所麻酔の特徴と目的及び種類を説明できる。
- ⑥ 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。
- ⑦ 血管収縮薬の使用目的と種類、特徴及び臨床使用上の注意を説明できる。
- ⑧ 局所麻酔の実施法と合併症（偶発症）を説明できる。
- ⑨ 精神鎮静法の特徴と目的及び種類を説明できる。
- ⑩ 精神鎮静法の周術期の管理を説明できる。
- ⑪ 全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を説明できる。
- ⑫ 全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。
- ⑬ 歯科治療時の全身的偶発症を列挙し、説明できる。
- ⑭ 一次救命処置について説明できる。
- ⑮ 精神鎮静法および全身麻酔時の業務について説明できる。

■教科書：1. 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・麻酔科学（医歯薬出版）
2. 臨床検査（医歯薬出版）

■参考書：歯科診療補助論（医歯薬出版）

■授業時間：木曜日 (1) 9:00～9:50
(2) 10:00～10:50

■オフィスアワー：岡 俊一 水曜日 17:00～18:00 (oka.shunnichi@nihon-u.ac.jp)
北山 稔恭 火曜日 17:00～18:00 (kitayama.toshiyasu@nihon-u.ac.jp)

■授業の方法：教科書、参考書の内容をもとに講義する。

■準備学習・ 講義項目について事前に教科書や参考書を読み、出席すること。
準備学習時間：各々授業時間相当を充てて予習を行うこと。

■成績評価方法：定期試験(80%)および出席(20%)を総合して評価する。

■注意事項：平常試験はシラバス記載以外にも随時行うことがある。
講義には教科書および記録したノートを持参すること。

■実務経験：岡 俊一：現在、日本大学歯学部歯科麻酔学講座に在籍しており、全身管理の経験を基に歯科麻酔科医の立場から歯科治療時の

全身状態について、本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

北山 稔恭：現在、日本大学歯学部歯科麻酔学講座に在籍しており、歯科医師の立場から歯科治療が全身に及ぼす影響について、いままでの臨床経験で培った患者周術期管理を活かした講義，学ぶ場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 4月8日 岡 俊一 北山 稔恭	1) 臨床検査とは (教2) pp. 1-10 2) 生体検査 (教2) pp. 11-23 3) 検体検査 (教2) pp. 24-49	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床検査を理解する。 ・ バイタルサインを理解する。 ・ 尿検査の意義を理解する。 ・ 血液検査を理解する。 ・ 血液型について理解する。 ・ 出血性素因の検査について学ぶ。 ・ 感染症の検査について学ぶ。 ・ 糖尿病の検査について理解する。
第3・4回 4月15日 岡 俊一 北山 稔恭	4) 口腔領域の臨床検査 (教2) pp. 50-64 5) 主な疾患・病態別 検査値のとらえ方 (教2) pp. 70-82	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床検査を理解する。 ・ バイタルサインを理解する。 ・ 尿検査の意義を理解する。 ・ 血液検査を理解する。 ・ 血液型について理解する。 ・ 出血性素因の検査について学ぶ。 ・ 感染症の検査について学ぶ。 ・ 糖尿病の検査について理解する。
第5・6回 4月22日 岡 俊一 北山 稔恭	1) 歯科治療における歯 科麻酔と患者管理 (教1) pp. 174-184 2) 局所麻酔 (教1) pp. 185-193 3) 精神鎮静法 (教1) pp. 194-199	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科治療における歯科麻酔の立場を理解する。 ・ 全身状態の評価と患者管理を理解する。 ・ 局所麻酔について理解する。 精神鎮静法について理解する。
第7・8回 5月6日 岡 俊一 北山 稔恭	1) 全身麻酔 (教1) pp. 200-205 2) 救急蘇生法 (教1) pp. 206-215 3) 口腔外科・歯科麻酔 の臨床における歯科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全身麻酔について理解する。 ・ 歯科治療時の全身的偶発症について学ぶ。 ・ 酸素療法について学ぶ。 ・ 静脈確保について理解する。 ・ 一次救命処置について理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	衛生士のかかわり (教1)pp. 218-262	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 術前管理について理解する。 ・ 局所麻酔時の業務について理解する。 ・ 精神鎮静法および全身麻酔時の業務について理解する。